

令和3年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	家庭科		
教科	家庭基礎	単位数2単位	学年・コース・組
使用教科書	新 家庭基礎 ～今を学び 未来を描き 暮らしをつくる		
副教材等	トータル・データ 家庭科ガイドブック 資料＋数値式成分表		

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者との関わりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心を持つ
- ②生活の充実向上のため、課題を見出しその解決に向け試行を深め、適切に判断・工夫し創造する能力を身につける
- ③充実した生活のため、総合的に技術を身につける

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	衣生活 ・衣服の機能 ・衣服材料と性能	第1回定期考査	10月	・食品を知ろう ※調理実習	(第3回定期考査)
5月	・既製服の表示 ・衣服の手入れ ※被服製作実習(小物入れ)		11月	・安心安全な食品を選ぼう ・献立と調理 保育 ・子どもの成長を見つめる ・子どもの世話をしてみよう ・子どもを取り巻く環境	第4回定期考査
6月	食生活 ・食生活を見つめよう 食事の機能、食文化の継承		12月		
7月	第2回定期考査		1月	青年期と家族 ・青年期の発達課題 ・家族の変遷と家庭の機能 ・法と家族 高齢期 ・高齢期の特徴と課題 ・高齢期の生活を支える仕組	第5回定期考査
8月			2月	住生活 ・住まいと安全 消費生活・環境 ・自立した消費者 ・私たちの生活と環境	
9月			・私たちが食べているもの 栄養素とその働き ※調理実習	3月	

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

- 評価は、次の観点から行います
- ① 関心・意欲・態度 ② 思考・判断・表現 ③ 技能 ④ 知識・理解
- このため、評価は、具体的には次のものを対象とし
- ① 学習活動への取り組み
 - ② 課題や提出物の状況(ノート、プリント、レポート等)
 - ③ 定期考査・提出レポートの内容・提出ノートの内容・小テスト
- また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します